



検体検査システム

PCA(主成分分析法)による検体精度管理のご紹介

「PCA(主成分分析法)による検体精度管理※」は、大分大学とオネストが共同でシステム開発した全く新しい画期的な検体精度管理手法です。

※国立大学法人大分大学特許第4872103号、第5550543号、第5550614号

検査部門様で、こんなお悩み抱えていませんか？



最近、検査部門へのコスト面での風当たりが強いんですよ。再検にかかるコストはかなり大きいのでそこが節約しどころなんです。だから、極力再検率は下げたいんです。もちろん正確性は担保しなくてははいけませんから、ある再検チェックロジックを使っていますが、チェックマスタ設定があまりにも大変で…

こんなお悩みを抜本的に解決するために新しく開発した検体精度管理手法、それが **PCAによる検体精度管理** です。



これまでも他の再検チェック手法は存在し、利用されていましたが、分析器の入れ替えや試薬の変更が行われた際に、再検チェックパラメータを手作業で見直す必要がありました。

パラメータ数は膨大で、再算出とマスタ設定の作業は非常に困難でした。
ハートレーでは、これを解決します！

★キーワードは「自動化」と「短時間」。

ハートレーが実装するPCAによる再検チェックでは、自動かつ短時間で再検チェックパラメータを見直してくれますから、簡単に再検チェックパラメータを最適値にすることができます。

更に、チェックパラメータの算出に必要なデータ数は最低100個と極小です。

おすすめのご利用方法はこちら！

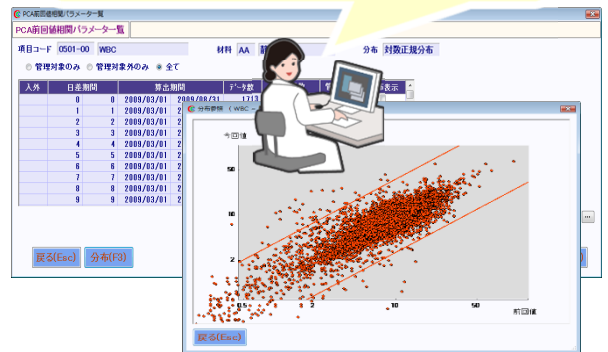


いきなり新しい再検チェックロジックを採用するのは不安な場合もあるでしょう。ハートレーでは、PCAによる再検チェック結果を補助的に表示する形からご利用いただけます。導入後、しばらくは正確さを吟味し、確認後からメインの判断基準とすることができます。

Step. 1 まずは補完情報として。

PCAの再検チェックパラメータは自動で短時間で Rowe 行われますから、余計な仕事が増えるわけでは ありません。まずは、通常の再検結果に加えて、 補助的に表示されたものを参照し、吟味する と ろから始めることができます。

過去の蓄積データから項目相関、前回値の パラメータを自動生成します。 わずらわしいチェックマスタ設定は不要です。



Step. 2 PCAの信頼度が確認できたら PCAによる再検判定をメインに！

PCAによる検体精度管理をお使いいただきますと、 以下2つの効果が期待できます。

- ①「再検する必要がなかった検体を再検していた 無駄」が削減される。
- ②「見逃されていた要再検検体」が正しく抽出さ れる。

これこそが求められるべき効果です！

リアルタイムでデータをチェックしエラーが 発生したら、アラームでお知らせします。



オネストメディカルシステムシリーズに関する情報、お問い合わせ

WEBサイト：<http://www.honest.co.jp>

メール：eigyo@honest.co.jp

株式会社オネスト

本社 / 〒170-6038 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 38階

